



探鳥会レポート

◆3月7日(日)

支部設立30周年記念イベント 道場バードソン

◇三ツ矢 孝

降水予想80%に違わず雨が降ったりやんだりバードソンが成功するかどうか不安でしたが、8チーム(4人一組)編成でバードソンを行いました。各チームが4コースに別れ、観察時間を6時間とし1位のチームが50種、最下位が41種で各チーム僅差でした。

参加者全員が真剣に観察し目標の観察鳥種新記録(御当地日帰り探鳥会62種)を達成し24年ぶり記録更新できました。探鳥会で新コースの塩田地区を観察するようになり、道場の早春は50種以上できる優良観察地として定着してきたように思います。

バードソンの成功は多くのサポーターの協力なしには実施できません。支部設立30周年記念イベントが今回探鳥種数の記録更新ができ、そして企画担当者として今回のバードソンに協力していただいた方々に紙面をお借りし御礼申し上げます。

[成績]

1位・2位チームの成績は観察鳥種50種で同点でした。同点規定で鳥合せチェックリストの記載のない鳥種が多い方が上位としたため、田中・油谷・大西チーム(観察地:塩田北地域)が1位と決定しました。

記念品贈呈は、1位チーム・2位チーム・珍鳥観察チーム(ヒクイナ)・企画担当者(2名)が受けました。



▲1位チーム 大西・田中・油谷の各氏



▲兄弟で参加しました

◇大西 圭祐

本日の探鳥会は、支部探鳥会出现種の新記録をねらってバードソン形式で行われた。あいにくの空模様で参加者は予想よりやや少なかったが、遠方からかけつけてくださった方や野鳥大好きという元気いっぱいの子どもの参加もあり、おおいに盛り上がりスタートした。

登録した4人ずつグループとなって順次出発する。私のグループは最後の方だったが、スタート地点でさっそくきれいな雄のイソヒヨドリやホオジロなど10種を確認し上々な滑り出しであった。

2時間ほどして有馬川の沿道を歩いているとひらひらと飛び2羽のツバメの姿を発見した。よく見ると、並んでいる

1羽の尾が短く角尾だ。腰の辺りも白く見える。イフツバメだ。ツバメもイフツバメも今年初めて見られたので喜びも2倍になった。

塩田神社で昼食をとった後、出口付近で多くの小鳥が木々の間を動いた。メジロやエナガかと思いながらよく見るときれいなオレンジ色の模様が見える。他の人たちが「アトリ！」と言って、スコープに入れてくださった。今年は、アトリは甲山周辺ではあまり見られなかったのでゆっくり観察できて満足した。

その他、カフセミの番や、カシラダカの100羽ほどの群れ、ウグイスのさえずりなど一日春を十分に感じさせてくれる探鳥会であった。

さて、雨の中、午後3時にやや疲れた様子でみんなが集まってきた。グループごとに出現種を報告する。あいにくの天気だったので、記録の方はどうなのだろう。みんな不安げな様子で結果を待つ。「結果は62種です。新記録達成！」どの顔にも満面の笑みがこぼれ、いっきに疲れも飛んでしまった。天候には恵まれなかったが、多くの野鳥やすてきな仲間と過ごし本当に楽しい一日であった。会を計画してくださった、三ツ矢さん、山村さん本当にありがとうございました。

道場探鳥会バードソン2010

鳥種	チーム	A	B	C	D	E	F	G	H	探鳥会確認種集計
	コース	千苅ダム	百丈岩	塩田北	塩田	千苅ダム	百丈岩	塩田北	塩田	
	代表者	長水	倉本	持田	境	飯田	重田	田中	三ツ矢	
	人数	6	4	4	4	4	3	3	3	
1	カイツブリ	○	○	○	○	○	○	○	○	●
2	カワウ	○	○	○	○	○	○	○	○	●
3	ダイサギ	○	○		○	○	○		○	●
4	コサギ	○	○	○	○		○	○	○	●
5	アオサギ	○	○	○	○	○	○	○	○	●
6	マガモ	○	○	○	○		○	○	○	●
7	カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	●
8	コガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	●
9	オカヨシガモ	○	○	○	○		○	○	○	●
10	ヒドリガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	●
11	ミサゴ	○	○	○			○	○	○	●
12	トビ	○	○	○	○	○	○	○	○	●
13	オオタカ		○	○	○		○	○		●
14	ハイタカ	○							○	●
15	ノスリ	○			○	○			○	●
16	コジュケイ				○					●
17	キジ			○			○	○	○	●
18	バン		○	○	○		○	○	○	●
19	オオバン			○	○		○	○	○	●
20	ヒクイナ						◎			●
21	イカルチドリ	○	○		○	○	○			●
22	ケリ	○	○	○			○	○		●
23	クサシギ	○	○	○	○	○	○	○	○	●
24	イソシギ	○	○	○		○	○	○	○	●
25	キジバト	○	○	○	○		○	○	○	●

鳥種	チーム	A	B	C	D	E	F	G	H	探鳥会確認種集計
	コース	千苅ダム	百丈岩	塩田北	塩田	千苅ダム	百丈岩	塩田北	塩田	
	代表者 人数	長水 6	倉本 4	持田 4	境 4	飯田 4	重田 3	田中 3	三ツ矢 3	
26	カワセミ	○	○	○	○		○	○	○	●
27	アオゲラ	○				○				●
28	コゲラ	○	○	○	○	○	○	○	○	●
29	ヒバリ	○	○	○	○		○	○	○	●
30	ツバメ	○		○				○		●
31	イワツバメ			○				○	○	●
32	キセキレイ	○	○			○	○			●
33	ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	●
34	セグロセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	●
35	タヒバリ			○	○		○	○		●
36	ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	●
37	モズ	○	○	○	○	○	○	○	○	●
38	ミソサザイ					○				●
39	ルリビタキ	○				○		○		●
40	ジョウビタキ	○	○	○	○	○	○	○	○	●
41	イソヒヨドリ			○	○	○	○	○	○	●
42	シロハラ	○	○	○	○	○	○	○	○	●
43	ツグミ	○	○	○	○	○	○	○	○	●
44	ウグイス	○	○	○	○	○	○	○	○	●
45	エナガ	○		○	○	○		○	○	●
46	ヤマガラ	○	○	○		○	○	○		●
47	シジュウカラ	○	○	○	○	○	○		○	●
48	メジロ	○	○	○	○	○	○	○	○	●
49	ホオジロ	○	○	○	○	○	○	○	○	●
50	カシラダカ	○	○	○	○	○	○	○	○	●
51	アオジ	○	○	○	○	○	○	○	○	●
52	オオジュリン	○	○				○		○	●
53	カワラヒワ	○	○	○	○	○	○	○	○	●
54	アトリ			○				○		●
55	ベニマシコ	○	○	○	○	○	○	○	○	●
56	シメ					○			○	●
57	ニュウナイスズメ		○	○	○		○	○	○	●
58	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○	●
59	ムクドリ	○	○	○	○		○	○	○	●
60	カケス		○		○	○		○		●
61	ハシボソガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	●
62	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	●
チームの鳥種合計		48	46	49	46	41	50	50	48	62種
同 点 優 位 要 素	①チェックリストにない鳥	1	1	3	0	1	2	3	2	F、Gの同 点処理： ①で順位 を決定し た
	②単独観察鳥種	0	0	0	1	2	1	0	0	
	③チーム探鳥経験年数	36	21	28	80	70	30	25	35	
	④アニマル観察種数	1	1	1	0	0	1	1	0	
観察アニマル種		ヌートリア	ヌートリア	ヌートリア	—	—	カワネズミ	ヌートリア	—	2種
順位		5	6	3	7	8	2	1	4	
探鳥コース		千苅ダム	百丈岩	塩田北	塩田	千苅ダム	百丈岩	塩田北	塩田	

■ はチェックリストになかった鳥種 ◎ : 珍鳥賞

今後観察が期待できる鳥種: オナガガモ、ハシビロガモ、ハヤブサ、タシギ、ウソ、セッカ、イカル

◆3月14日(日):淡路島公園

◇五百歳 聡

トビが食べ残したヒヨドリの死骸(すでに羽だけになっていたが)からは、たくさんの羽をおみやげとして、みんなで持ち帰りました。

あいかわらず、美しい姿のオシドリや渡り途中のノスリ(7羽)、初認のツバメなどメニューがけっこうあり、探鳥会初参加の方にもゆっくり楽しんでいただけました。いたるところで見かけたツグミの胸のあたりに赤味がないか、赤味があればハチジョウツグミですと、少し通な楽しみ方も交えて、(残念ながら発見できず)早春の淡路島公園探鳥会を終えました。

◆4月18日(日):猪名川探鳥会

◇山村 勉

春の渡りの期間の探鳥会。今年も5年連続でコムドリが3回も見ることができ、去年見られなかったノビタキも、2年間見られなかったホオアカも2回計3羽、参加者全員がじっくり観察できた事が非常によかったと思います。

◆4月24日(土):明石金ヶ崎公園

◇山本 幸二

4月も下旬だと言うのに一向に暖かくなり今年春、夏鳥たちの出現にもひびくのではと懸念しつつ探鳥会が始まりました。ところが予想に反して公園入口で早くもオオルリの♂♀出現、オオルリ♂3羽が同時に双眼鏡の視野に入ると言う豪華なショーには参加者一同もビックリ。キビタキ♂は4~5羽いたようであちこちで観察でき十分に堪能、センダイムシクイも負けまいと盛んにチヨチヨビーを連発、夏鳥のオンパレードでした。

極めつけはコースの一番奥にある湧水ポンプのある場所でのサンショウクイの出現でした。ピリリ、ピリリと言う鳴き声が聞こえたかと思うと頭上に数羽の群れが出現、初めて観察した人も多く非常にラッキーでした。5~6年に一度あるか無いかの夏鳥大盛況の言うことなし探鳥会でした。終了後も粘って観察した参加者には、さらにアカハラ4羽、クロツグミ1羽の収穫あり。



エコウィング:野鳥観察会in金ヶ崎公園 ◇長尾 高明

明石市は平成18年度に「明石市環境基本計画」の見直し作業を市民・事業者・行政の三者協働で行うことにし、見直し作業に参加したメンバーで、議論の結果を13のリーディングプロジェクトなどにまとめました。そして、この基本計画を進めていくため、「エコウィングあかし」(明石市環境基本計画推進パートナーシップ協議会)が設立されました。明石が好きの人、自然に関心のある人、ごみの減量やリサイクルに興味がある人など様々な人たちが集まっています。

私もエコウィングの中の「自然グループ」の一員として参加しているのですが、先日(4月29日)明石市魚住町にある金ヶ崎公園で野鳥観察会を開きました。エコウィングはこの公園で里山の保全活動をしているのですが、野鳥など、この公園の魅力をもっと知ってもらおうと実施しました。24日の支部の探鳥会ほど鳥は出てくれませんでした。普段あまり鳥を見ない人もいて、「鳥を見る楽しみ」に触れてもらい、それなりに意義はあったようです。

